

【特許第2委員会】

研究対象

- 登録後の諸問題、判例（侵害、審取）研究
- 特許の新しい活用、特許制度の在り方、意見発信、政策提言

特許庁

特許第2委員会

裁判所・裁判官

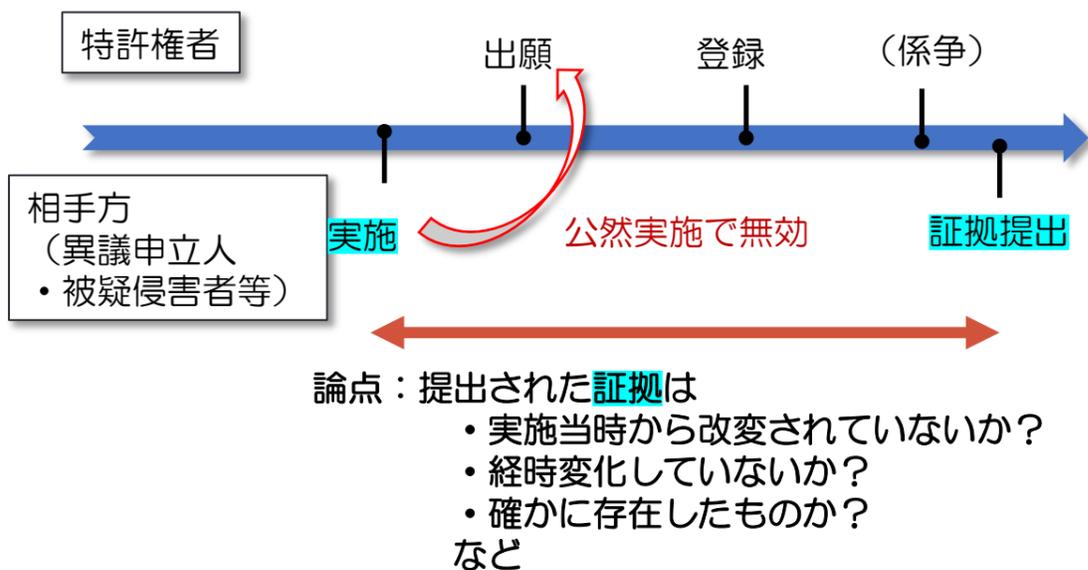
弁護士

総勢58名（58社）の異なるバックグラウンドの知財部員との意見交換、議論による自己成長、人脈形成

- 法曹界の考え方を体得し、法知識を向上（裁判所、弁護士との意見交換）
- メンバーのレベルアップ！（弁護士とのコラボレーション検討会）

公然実施の事実認定 —証拠の信憑性— 第1小委員会

■公然実施証拠の信憑性に関する争点について調査する



公然実施が争点となった事件の無効件数 ※2015年以降で抽出

事件種別	無効件数／事件数
民事訴訟	8件／12件
無効審判	36件／100件
異議申立	3件／162件

民事訴訟と無効審判は無効件数の割合が高いが異議申立は無効件数（取消、一部取り消し）が著しく少ない。
（事実認定のハードルが事件種別で異なる？）

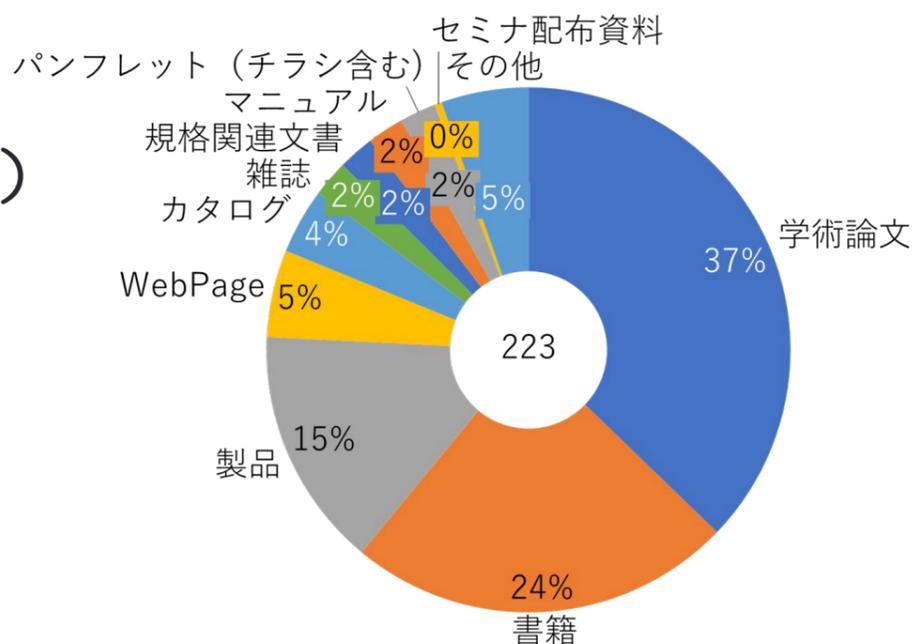
非特許文献 —非特許文献の活用に関する調査・研究— 第2小委員会

■実務における非特許文献の有効な活用方針を提案する

調査・研究対象

- 非特許文献による無効化率の分析（技術分野や非特許文献の種類の違い等）
- 非特許文献を主引例として無効化を主張する場合の有用な活用方法
- 非特許文献の証拠性（日付や信憑性）

これらの研究・分析を通じて非特許文献を用いて無効化を図る際に実務者に役立つTipsを提供します！



無効化に用いられた非特許文献の種類

■ 拒絶査定不服審判、異議申立て、特許無効の抗弁を分析・検討

拒絶査定不服審判の請求成立率が増加傾向なのは、なぜ？ 技術分野によって、違いがあるかな？
～審決における条文（29条2項×36条）の分析～

異議申立ての強み・弱みはあるのかな？どんな場面で、どんな使い方をすると良いのかな？
～化学分野における取消理由の類型付与・分析～

侵害訴訟における**無効の抗弁**の方が、無効審判よりも無効判断されやすいって、本当？
～判決・審判にて判断に相違があった事例の分析～

各種制度の特性を把握して、有効な活用方法、注意点を提言します！



特許活用戦略の研究

第4小委員会

■ オープンイノベーション等に資する特許活用戦略を知財実務家視点で提言



2年間テーマ①：
コモディティ化した市場における特許戦略に関する調査研究

2年間テーマ②：
大企業とスタートアップ企業との協創（共創）支援に関する調査研究

メリット：
多様な知財戦略を把握できます。
新しい知財動向を研究できます。
実情に即した活用例を研究できます。



出願年	全件数	トヨタ共願	Spiber 共願	占有率
2021	5	1		0%
2020	16	5	1	6%
2019	38	8	14	37%
2018	57	8	22	39%
2017	58	11	12	21%
2016	73	19	6	8%
2015	68	14		
2014	101	6		
2013	140	10		
2012	126	11		
2011	115	10		
2010	92	9		

越境問題 -グローバル時代の侵害形態- 第5小委員会

■ ドワンゴvs.FC2事件や国内外の判例から越境問題の課題と解決策を検討

